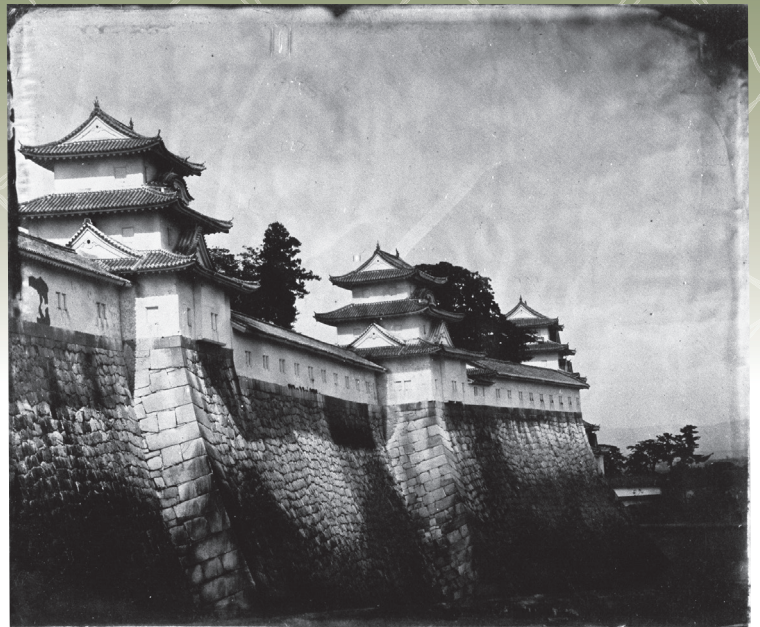


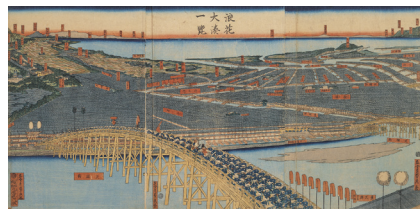
# 01 幕末大坂城湿板写真 本丸東側諸櫓

大坂城内を撮影した最古の写真の一つで、徳川家茂が在城した慶応元(1865)年から翌年にかけての撮影。本丸東の高石垣上に建つ3棟の三層櫓をとらえた迫力ある構図である。建物はいずれも、数年後に起きた戊辰戦争の大火によって焼失した。



# 02 露艦大坂川口入港図(部分)

安政元(1854)年9月、前年のアメリカ艦隊浦賀来航に続き、ロシア軍艦が天保山沖に現れ、人々を驚かせた。幕末の画家で、勤王の志士としても知られる浮田一恵(うきたいっけい)によるスケッチ風の鳥瞰図。



# 03 浪花大湊一覽

文久3(1863)年に江戸で刊行された錦絵。幕末大坂の繁栄ぶりを描いたものだが、徳川家茂はこの年、将軍として229年ぶりに大坂城に入った。手前の天満橋を渡る行列は、大坂城に向かう将軍一行をあらわす。



# 04 『絵入りロンドンニュース』より 大坂城におけるパークスと 徳川慶喜の会見

幕末の大坂城は、イギリス発行の新聞にも登場した。最後の将軍徳川慶喜はイギリス・オランダ・フランス・アメリカの各公使と本丸御殿で次々に会い、外交問題を話し合うとともにフランス料理でもてなした。

# 05 城中大火図

明治元(1868)年1月、徳川慶喜は拠点だった大坂城を脱出し、その数日後、城から火が出た。大坂の人々は燃え落ちる徳川大坂城を遠巻きに見つめ、「サムライの世」の終焉に立ち会った。三世長谷川貞信画。

掲載の作品は全て大阪城天守閣所蔵

## 学芸員のおススメコレクション

### 大阪歴史博物館 釜山から富士山は見えたのか?

富士山が見える最遠の地はどこか。ときどき話題となりますが、今のところ和歌山県那智勝浦町色川小麦峠だそうです。その距離は322.9km。ところがこの絵を見てください。切り立つ岩を背にした帆船の舳先に立つのは朝鮮の人らしきいでたち。そしてその視線の先にはかすかに富士山が…。実はこの絵、釜山(プサン)から富士山を望む様子を描いたものです。江戸時代は朝鮮半島から富士山が見えると考えられており、日本人絵師がその様子を描いたのです。日本にやってきた朝鮮通信使は富士山の壮麗さには感嘆の声をあげており、実際に富士山は海外にも知られた山だったのです。

(大阪歴史博物館学芸課長 大澤研一)

※「釜山浦富士図」は、特別企画展「世界に誇る大阪の遺産 一文案と朝鮮通信使」(平成29年9月30日(土)から11月26日(日)まで)で公開します。



釜山浦富士図 江戸時代 大阪歴史博物館蔵

大阪歴史博物館 ●所在地 〒540-0008 大阪市中央区大手前4-1-32 ●TEL 06-6946-5728 ●FAX 06-6946-2662 ●アクセス 地下鉄谷町線・中央線「谷町四丁目」駅 ②号・③号出口  
大阪市営バス「馬場町」バス停前 ●ホームページ <http://www.mus-his.city.osaka.jp/>

大阪市立の博物館・美術館・動物園  
**Osaka Museums**  
<http://www.ocmo.jp/museums/>



- 大阪市立科学館
- 大阪市立美術館
- 天王寺動物園
- 大阪城天守閣
- 大阪市立東洋陶磁美術館
- 大阪歴史博物館**
- 大阪新美術館建設準備室
- 大阪市立自然史博物館
- 大阪くらしの今昔館
- 大阪文化財研究所